

ミニガイド報告

記 M

〇バードウォッチング

1. 日時：2022. 2. 5（土） 9：30～12：20 天気 晴れ
2. リーダー：M、N ききみみメンバー：1名
3. 参加者数：大人 11名 子供 1名 対象者：小学生以上
4. ねらい：冬の小鳥（ホオジロ科・アトリ科・ヒタキ科）を探す。
5. 活動場所：ダム湖東岸、ヤンマ池、東出入口の外の田畑、飾西高校手前の林
6. 活動内容：ダム湖に沿って移動、水辺の鳥を探す。以後、山中の通路で山の鳥、田畑で野の鳥を観察。

時間・場所	内 容
9：30 ベランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者コース6名をNが担当、経験者コース6名をM、Tで担当 ・この時期は木の実も下に落ちてエサになるものが木に少なくなるので、目線より下、地面との間を重点的に探すと説明。 ・この冬の当たり鳥はルリビタキ、はずれはクイタダキ・マヒワ・シメ、今後に期待出来るのはレンジャク・ウソ等の解説。
9：50	<ul style="list-style-type: none"> ・出発後、ダム湖沿いの道に行く。特に記するもの無し。
10：10 ダム湖東岸	<ul style="list-style-type: none"> ・マガモの小群の中にオシドリ雄1羽発見。他にカルガモ・コガモ、数量・種類共に少ない。カモ類は一ヶ所にとどまらず、よく移動していると説明。 ・17番湿地でイノシシのめた場について説明していると、すぐ横の倒木にルリビタキ雄を発見。地表近くを小刻みに移動するのを全員で確認。
10：30 ヤンマ池	<ul style="list-style-type: none"> ・カワセミを探すも見当たらない。 ・70番近く通路沿いのクマノミズキの木と実の説明。特にヒタキ類が好む事を解説。
10：40 外の田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・田園地帯で杭の上に止まるイソヒヨドリ雄（青い鳥の1種）は皆に結構人気がある。ここ数年、海岸地帯より内陸部に進出著しいと説明。道路際の斜面にケリ・田圃の中にツグミ・ハクセキレイ、休耕田の木にモズ、上空にトビ・カラス、畦にジョウビタキ雌と今回のコースの中では一番多く鳥が見られた。
11：30 ヤンマ池	<ul style="list-style-type: none"> ・小休止 リーダーがこの冬に撮影した写真を参加者に見て頂く。それぞれの鳥について説明をし、冬鳥は3月末頃までは居るので、見る機会は十分にある事を説明する。
12：10 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収 「鳥合わせ」 次回3月5日の案内

7. 鳥合わせ

- ・オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、カワアイサ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、
- ・カウウ、ダイサギ、●オオバン、ケリ、トビ、コゲラ、リュウキュウサンショウクイ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、●ヤマガラ、●シジュウカラ、●ヒヨドリ、●エナガ、●メジロ、●シロハラ、ツグミ、●ルリビタキ、●ジョウビタキ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ホオジロ、●アオジ、(31種類)
- 印 初心者コース確認10種類 追記：解散後確認トラツグミ、アトリ